★先生方へ～解答欄の■～■の番号は、問題結果登録の設問番号に対応しています。

令和元年度 ほっかいどうチャレンジテスト
一学期末問題（第二回） 国語 小三

組　番　名前

5問中

めあて　相手や目的に応じて、理由や事例などを挙げながら筋道を立てて話せるようにしよう。

一　水野さんは、生活の中で、うれしかったことについてスピーチをしました。このスピーチを読んで、あとの問題に答えましょう。

わたしがうれしかったことは、一年生に、「お姉ちゃん」とよばれたことです。

先週の金曜日に、一年生といっしょにかくれんぼをして遊びました。ア

そのかくれんぼでは、一年生と三年生で二人組になって、おにになったり、かくれたりしました。イ

手をつないでにげるとき、さきちゃんがわたしの手をぎゅっと強くにぎりました。ウそのとき、わたしがさきちゃんを守らなきゃと思いました。

かくれんぼが終わると、さきちゃんが、

「まきお姉ちゃん、また遊んでね。」

と言いました。妹ができたみたいでうれしかったです。

さきちゃんたちと、またいっしょに遊びたいです。

「話したいな、うれしかったこと」より（平成二十七年度　東京書籍）

1　水野さんが、聞き手につたえたいと思っている気持ちを、次の①から③までの中からえらんで、番号を書きましょう。

① 一年生といっしょにかくれんぼをして遊んだこと。
② さきちゃんがわたしの手をぎゅっと強くにぎったこと。
③ 妹ができたみたいでうれしかったこと。

[1]

2　水野さんは、友だちにスピーチを聞いてもらい、「『さきちゃん』が急に出てくるから、どこかで説明したらいいよ。」という意見をもらいました。そこで、水野さんは、次の【文】を入れてスピーチすることにしました。スピーチのアからウのどこに入れるとよいですか。一つえらんで、記号を書きましょう。

【文】わたしは、一年二組の上田さきちゃんと二人組になりました。

[2]

※次のページにも問題があります。

★先生方へ～解答欄の■～■の番号は、問題結果登録の設問番号に対応しています。

めあて　目的に応じて、中心となる語や文をとらえて読もう。

二　次の文章を読んで、あとの問題に答えましょう。

スポーツの大会などでは、選手にゼッケンをつけて、その番号でだれなのかが分かるようにしています。①、ゆうびん番号や電話の市外局番は、どの地いきか、どこの局かが、分かるようになっています。

これらは、番号をつけることで、たくさんあるものを一つ一つ区別しやすくしているのです。こうすることで、いろいろなものを整理したり、かんたんに表したりすることができます。

このように、数字を使うと、たくさんのじょうほうをかんたんにまとめることができるというよさがあります。

「合図としるし」より（平成二十七年度　学校図書）

1　文章の①に合う言葉を次のアからウまでの中からえらんで、記号を書きましょう。

ア　しかし　イ　また　ウ　ところで

[3]

2　筆者は、～～線の「番号をつけることで、たくさんあるものを一つ一つ区別しやすくしている」ことを、分かりやすくつたえるために、れいを三つあげています。「ゆうびん番号」、「市外局番」の他にあげているれいを、書きぬきましょう。

[4]

3　文章の――線の部分の「よさ」とは、どのようなことですか。四十字以内で書きましょう。

[5]